

【概要】宮崎県、AGRIST（株）及び （株）マクニカとの連携協定

目的

持続可能な地域農業の実現が課題となる中、G7宮崎農業大臣会合の開催を契機とした本県農業のイノベーションを進めるため、相互の強みを生かした連携と協力により、**ピーマン収穫ロボットの早期の現場実装と、同ロボットを活用した次世代農業の実現に向けた技術構築**に取り組む

協定の主な内容

ピーマン収穫ロボットによる持続可能な農業の実現に向けた次世代農業の事業化

- **ピーマン収穫ロボットの早期の現場実装に関すること**
 - ・ピーマン収穫ロボットの開発・機能向上
 - ・ピーマン収穫ロボットに適した栽培方法の開発
 - ・ピーマン収穫ロボットの機能付加等の検討
- **ピーマン収穫ロボットの普及に向けた人材育成に関すること**



※ ピーマン収穫ロボット

AGRIST株式会社が開発を進めているピーマンの自動収穫ロボット。本県の主力品目であるピーマンは、収穫作業での労働力不足による収穫遅れが課題であり、その解消により、収量を20%程度増やすことや、経営規模を拡大しやすくなることなどのメリットが期待される。

連携体制



【収穫ロボットの開発】

- 収穫ロボットの改良、試験等への貸出し
- 機能付加の検討、開発

【収穫ロボットの現場実装】

- ロボット収穫に適した栽培ノウハウの提供

【収穫ロボットの開発】

- 収穫ロボットの性能評価
- 機能付加に対する助言等

【栽培方法の開発支援】

- ロボット収穫に適したピーマンの仕立て方等の開発支援

【収穫ロボットの開発】

- 収穫ロボットの基盤開発の支援

【収穫ロボットの現場実装】

- ロボットの生産支援
- ロボットの販売支援

ピーマン収穫ロボットの現場実装により、
農業の労働集約による飛躍的な生産性の向上を推進

持続可能な農業の実現と食料安全保障の強化に貢献